

経営比較分析表（令和5年度決算）

兵庫県 朝来市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡当たり家庭料金(円)
-	86.37	29.14	82.95	3,140

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
28,239	403.06	70.06
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
8,166	4.21	1,939.67

グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和5年度全国平均

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

【単年度の収支】
①経常収支比率は100%を超えてはいるものの、更新投資等に充てる財源が充分とは言えない為、更なる費用削減が必要である。
【債務残高】
④企業債残高対事業規模比率は企業債の償還が進んだこと、及び発行抑制が図れていることから減少している。しかしながら、今後の老朽化施設の更新時期が重なってくることにより、上昇に転じることも予想される。
【料金水準の適切性】
⑤経費回収率は、令和3年度から繰入金の充当方法を変更したことにより、全国平均を上回っているが、更新投資等に充てる財源確保のためにも、更なる費用削減が必要である。
【費用の効率性】
③流動比率は100%を超えており、⑥汚水処理原価についても類似団体平均値を下回っているが、更なる維持管理費の削減に努める。
【施設の効率性】
⑦施設利用率が低下しており、今後も計画的に施設の統合を図り、適切な施設規模を維持していく必要がある。
【使用料対象の捕捉】
⑧水洗化率は、類似団体平均値を上回っている。

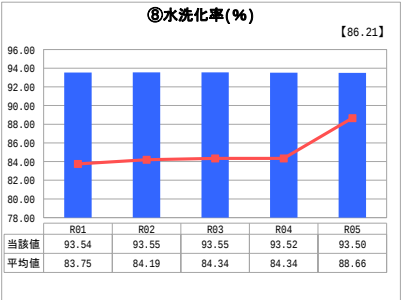
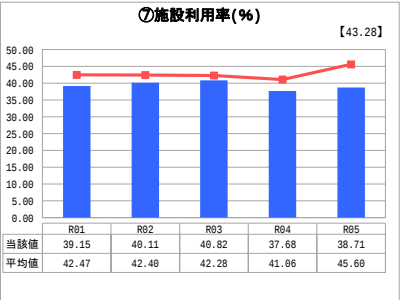
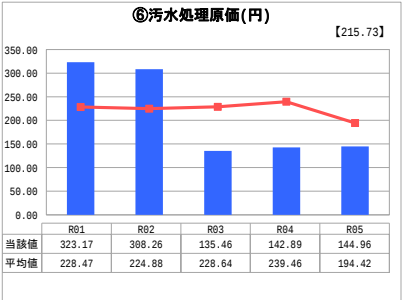
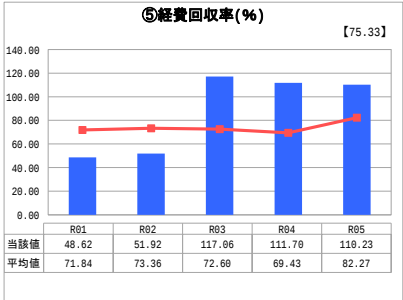
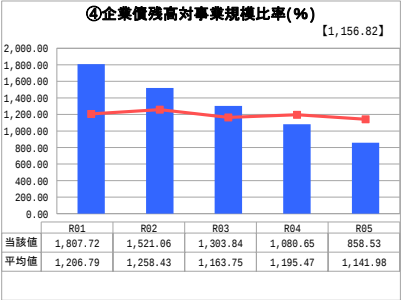
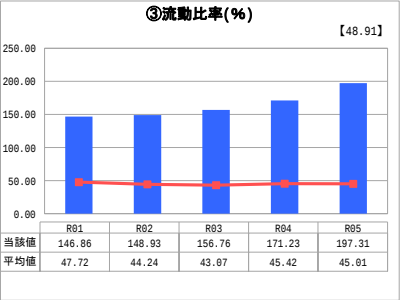
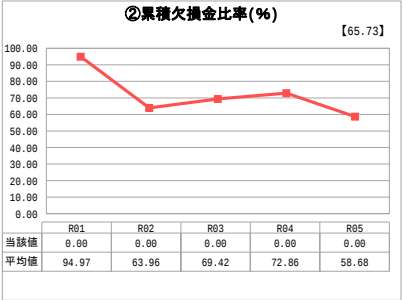
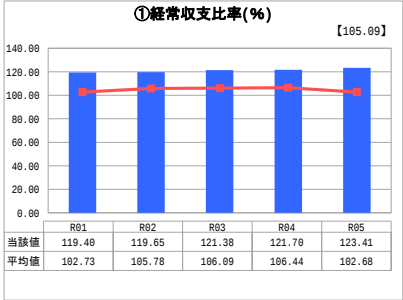
2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率については、平均値と比較して大きく下回っているが、平成7年12月の供用開始以来20年以上が経過し、施設の老朽化が進行しているため、ストックマネジメント計画にのっとり、計画的に施設更新を行う必要がある。

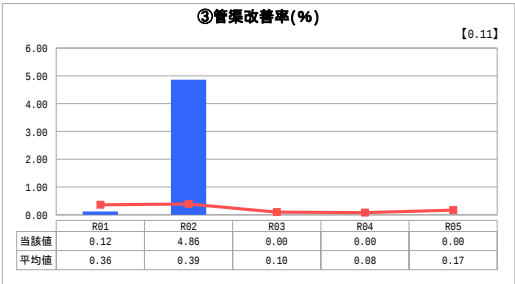
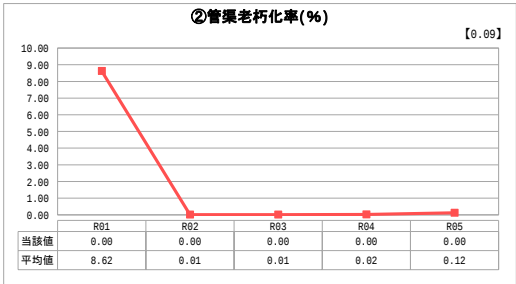
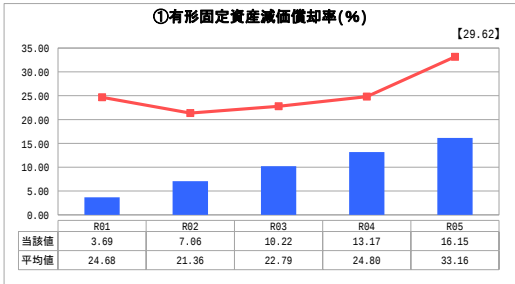
全体総括

本市の特定環境保全公共下水道事業は、使用料収入の大幅な伸びが期待できない状況にある一方で、施設建設から相当の年月が経過しており、施設の老朽化が進行している。そのような中、施設の維持管理、施設更新を強化する必要がある、引き続き厳しい状況下にある。
以上のようなことから、事業種別を超えた処理区の統廃合を視野に入れた事業推進を行い、経営の効率化を図っていくことが必要である。

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。